

オリジナル曲やすごろく 「新しい生活」理解へ工夫

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ「新しい生活様式」を子どもたちに理解してもらうため、県内の教育現場では独創的な手法や情報発信もみられる。

静岡市葵区の市立服織小は、教員有志が作詞作曲したオリジナル曲「大切だから くっつかない！」を休み時間などに校内で流す。ソーシャルディスタンス（社会的距離）確保の大切さを呼び掛ける歌詞で、児童の感染防止意識を高めている。

静岡文化芸術大デザイン学部（浜松市中区）の伊豆裕一教授の授業では、学生がコロナ対策をテーマにした「すごろく遊び」を考案し、同大ホームページで公開している。

止まるマスによって「手洗いうがい」「マスク」のカードを使い分けて駒を進めるゲームで、楽しみながら感染症対策を学ぶことができる。

2020.7.26

静岡新聞（朝刊）P.7